資料２

令和４年度　福井県原子力総合防災訓練の概要

※アンダーラインは今年度の訓練で初めて実施するもの

１　住民避難訓練　　約６５０人（参加者内訳は別添のとおり）

美浜発電所のＰＡＺ圏およびＵＰＺ圏の市町（美浜町、敦賀市、若狭町、小浜市、南越前町、越前市、越前町）が住民避難訓練を実施（11/5,6）

（１）在宅要配慮者の避難（２人）[11/5]

○美浜町（菅浜地区）からおおい町の「いきいき長寿村」に福祉車両により避難

○菅浜地区から警察車両による先導を実施（出発場所：農業構造改善センター　出発時間：９：１０頃）

（２）一般住民の避難　６３３人（ＰＡＺ：５６人[11/5]　ＵＰＺ：５７７人[11/6]）

避難先については次頁「避難先」を参照

○令和元年度以来の県外避難を実施

○美浜地域の広域避難計画に定める全ての県外避難先への避難（兵庫県避難に加え、初めて<u>奈良県・石川県避難を実施</u>）

○実動機関の多様な避難手段を確保した住民搬送の実施

・<u>陸上自衛隊の水陸両用車による避難</u>

○ＤＸを活用した避難所運営（LINE による受付、<u>災害時無料 Wi-Fi スポットの設置</u>）

○<u>ドローンを活用した緊急配送</u>

○コロナ禍の避難所確保対策の実施（避難先市町のホテルに避難）

美浜町→おおい町（総合運動公園体育館）に避難　→　ホテルうみんぴあに避難

小浜市→兵庫県姫路市（姫路みなとドーム）に避難　→　姫路城下町ﾎﾃﾙｸﾚｰﾙ日笠（*1）に避難

○<u>若者の参加</u>（敦賀看護大学、福井工業大学（旧岬小学校））

＜実動機関の訓練計画＞

[　]は避難住民数

地区		ヘリ	船舶	車両
ＰＡＺ	美浜町 丹生・竹波・菅浜	ヘリ １機（UH-1J）　[3] 旧菅浜小→美浜町総合運動公園	―	高機動車→　１台 水陸両用車　１台　[6] →菅浜漁港
	敦賀市 白木	ヘリ １機（MH961）　[2] 白木漁港→敦賀鞠山南 HP	―	高機動車　１台　[3] 白木会館→敦賀港
ＵＰＺ	美浜町 新庄	ヘリ １機（SH60K）　[3] 新庄地区雲谷 HP →美浜町総合運動公園	―	―
	敦賀市 西浦			バス避難[6]
	若狭町 岬		―	高機動車　３台　[19]
	小浜市 泊・堅海	―	船舶２隻 （YF-2153/巡視船あおかぜ）[10] 泊漁港→小浜漁港	

〇外国人の避難

・越前市内企業（ナカヤ化学産業㈱、㈱福井村田製作所）と連携した訓練
・外国人(ベトナム人(11 人)・ブラジル人(11 人))が春江 B&G 海洋センターに避難
・Facebook による避難指示、自動翻訳アプリ（ボイストラ）の活用
・越前市から企業へ・企業から外国人への SNS を活用した情報伝達

（３）福祉施設入所者の避難（１２人）

・高齢者施設　　湖岳の郷（美浜町）　　→　高浜けいあいの里（高浜町）（４人）
・障がい者施設　ﾗｲﾄﾎｰﾌﾟｾﾝﾀｰ（越前町）　→　希望園（大野市）（８人）
・**長期的な避難に備えた共有スペースの確保**
・入所者情報カードによる避難者情報の共有

＜避難先＞

１１月５日（土）ＰＡＺ避難

避難元		避難先		人数
美浜町	一般	おおい町	大飯中学校	51
	在宅		いきいき長寿村	2
敦賀市	一般	(孤立地域からの搬送訓練)	白木漁港(ヘリ)→鞠山南ﾍﾘﾎﾟｰﾄ	2
			白木会館(高機動車)→敦賀港金ヶ崎岸壁	3

１１月６日（日）ＵＰＺ避難

避難元		避難先		人数
美浜町	一般	おおい町	総合運動公園体育館	125
		(コロナ対策)	→ホテルうみんぴあ	17
		(孤立地域からの搬送訓練)	新庄HP(ヘリ)→美浜町総合運動公園	3
(湖岳の郷)	福祉施設	高浜町	高浜けいあいの里	4
敦賀市	一般	奈良県天理市	鴻ノ池運動公園(拠点避難所)→二階堂小学校	44
		(ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞまで)	敦賀看護大学→賤ヶ岳SA(上り)	15
		(孤立地域からの搬送訓練)	日本原電原子力館(ヘリ)→大型巡視船→敦賀港 西浦小中学校(ヘリ)→大型巡視船→敦賀港	6
若狭町	一般	兵庫県三木市	三木総合防災公園	90
		(孤立地域からの搬送訓練)	旧岬小学校(ヘリ)→おおい町総合運動公園	19
小浜市	一般	兵庫県姫路市	姫路みなとドーム	55
		(コロナ対策)	→姫路城下町ﾎﾃﾙｸﾚｰﾙ日笠に移動	3
		(孤立地域からの搬送訓練)	泊漁港(船舶)→小浜漁港	10
南越前町	一般	永平寺町	上志比小学校	50
越前市	外国人	坂井市	春江B&G海洋センター	37
	一般	石川県小松市	小松市民センター	55
越前町	一般	坂井市	加戸小学校	48
(ﾗｲﾄﾎｰﾌﾟｾﾝﾀｰ)	福祉施設	大野市	希望園	8

（４）安定ヨウ素剤の配布

・ﾄﾞﾗｲﾌﾞｽﾙｰ会場および一時集合場所で配布（配布場所については、別紙「時系列行程」参照）

・UPZ 圏の事前配布者の確認

（５）スクリーニング・除染の実施

・うみんぴあ大飯、福井県産業会館、賤ヶ岳ＳＡ（上り線）の３か所で実施

（６）被ばく・汚染患者の搬送・受入れ

・発電所で発生した被ばく傷病者、ｽｸﾘｰﾆﾝｸﾞ検査で発見した汚染患者を福井県立病院で受入・処置

２　屋内退避訓練　　約５，０００人

自宅等における屋内退避訓練を実施（11/5、6）

① 住民が自宅等で屋内退避行動（窓を閉める・窓から離れる、非常時持出品準備）を実施

② 各市町のケーブルテレビによる屋内退避啓発 DVD 等の放映

３　交通対策訓練

県警による交通規制や交通誘導、道路管理者による道路状況の確認および情報共有（11/4、5）

① PAZ 圏への車両流入規制や交通誘導（４カ所）

② 警察ヘリ・オフロードバイクによる道路状況の把握、映像配信の実施

③ 道路管理者による道路パトロールおよび道路状況の情報共有(道路啓開)

４　本部運営訓練

県災害対策本部・現地災害対策本部等の設置、運営訓練（11/4、5）

（県庁、各市町庁舎、美浜 OFC）

区　分	回・時間 ※時間は開始予定時間	備考
福井県災害対策本部会議 （県庁/美浜 OFC〔TV 会議〕）	(11/4)　第１回　14:30～ 第２回　16:50～ (11/5)　第３回　10:20～	知事、副知事、各部長、関西電力、自衛隊福井地方協力本部、福井地方気象台など関係機関が出席 （※櫻本副知事は第１回のみ参加）
国原子力災害対策本部 （TV 会議で参加）	(11/5)　10:50～	官邸開催の会議に TV 会議で参加（知事、美浜町長、敦賀市長） **※TV 会議終了まで公開**
国現地事故対策連絡会議 （美浜 OFC）	(11/4)　第１回　17:05～ (11/5)　第２回　9:00～	※内閣府副大臣・櫻本副知事出席（第２回） ※滋賀県、岐阜県、関西広域連合出席
国原子力災害合同対策協議会 （美浜 OFC）	(11/5)　第１回　11:30～	※内閣府副大臣・櫻本副知事出席 ※滋賀県、岐阜県、関西広域連合出席

５　その他

・児童生徒の引き渡し訓練（美浜西小学校）
・発電所における事故制圧訓練（電源車による電源融通、大容量ﾎﾟﾝﾌﾟ車の設置等）
・緊急時モニタリング訓練（OFC、発電所から 30 ㎞圏）

※発電所における事故制圧訓練については、別途、関西電力㈱より情報提供を行います。

６　訓練想定

美浜発電所３号機において、嶺南地方を震源とした地震による外部電源喪失後、原子炉冷却材の漏えいが発生。さらに設備故障等により非常用炉心冷却装置による原子炉への全ての注水が不能となり、全面緊急事態となる。

７　参加機関・人数

約１５０機関　約３，１００人

政 府 機 関：内閣府（*2）、海上保安庁、陸上自衛隊、海上自衛隊 等
地方公共団体：福井県、滋賀県、岐阜県（*3）、兵庫県、奈良県、石川県、関西広域連合
美浜町、敦賀市、若狭町、小浜市、南越前町、越前市、越前町 等
関 係 機 関：警察、消防、医療機関、福祉施設、交通運輸機関、原子力事業者等

（*2）国の訓練概要は内閣府から別途公表

（*3）滋賀県、岐阜県の訓練概要は各県から別途公表

令和４年度福井県原子力総合防災訓練　広域避難訓練　参加者実績

【ＰＡＺ】　　58 人

区分	避難元市町		避難先（移動先）	人数
要配慮者	美浜町	在宅	おおい町　いきいき長寿村	2
一般住民	美浜町		おおい町　大飯中学校	51
	敦賀市		（孤立搬送）　白木漁港（ヘリ）→鞠山南ﾍﾘﾎﾟｰﾄ 白木会館（高機動車）→敦賀港金ヶ崎岸壁	5
合計				58

【ＵＰＺ】　　589 人

区分	避難元市町・施設名		避難先（移動先）	人数
一般住民	美浜町		おおい町　総合運動公園体育館	125
			おおい町　ホテルうみんぴあ	17
			（孤立搬送）　新庄HP（ヘリ）→美浜町総合運動公園	3
	敦賀市		奈良県天理市　二階堂小学校	44
			（孤立搬送）日本原電原子力館・西浦小中学校（ヘリ）→大型巡視船→敦賀港金ヶ崎岸壁	6
			賤ヶ岳ＳＡ	15
	若狭町		兵庫県三木市　三木総合防災公園	90
			（孤立搬送）　旧岬小学校（ヘリ）→おおい町総合運動公園	19
	小浜市		兵庫県姫路市　姫路みなとドーム	55
			兵庫県姫路市　姫路城下町ホテルクレール日笠	3
			（孤立搬送）　泊漁港（船舶）→小浜漁港	10
	南越前町		永平寺町　上志比小学校	50
	越前市		坂井市　春江Ｂ＆Ｇ海洋センター	37
			石川県小松市　小松市民センター	55
	越前町		坂井市　加戸小学校	48
社会福祉施設等	美浜町	湖岳の郷	高浜町　高浜けいあいの里	4
	越前町	ﾗｲﾄﾎｰﾌﾟｾﾝﾀｰ	大野市　希望園	8
合計				589

ＰＡＺ・ＵＰＺ総計	647

資料３－１

滋賀県原子力防災訓練・原子力総合防災訓練における
滋賀県災害対策本部等本部員会議運営訓練・オフサイトセンター運営訓練
の結果について

１　目　的

（1）国、地方公共団体および原子力事業者における防災体制や関係機関における協力体制の実効性の確認
（2）「美浜地域の緊急時対応」に定められた避難計画の検証
（3）訓練結果を踏まえた教訓事項の抽出、緊急時対応等の検討
（4）原子力災害対策に係る要員の技能の習熟および原子力防災に関する住民理解の促進

２　実施日時

令和４年 11 月４日（金）　14:00～18:00
11 月５日（土）　8:30～17:00
11 月６日（日）　8:30～13:00

３　主な参加機関

（1）滋賀県災害対策本部等本部員会議運営訓訓練

滋賀県、滋賀県教育委員会、滋賀県警察本部、長浜市、高島市、陸上自衛隊第３戦車大隊、彦根地方気象台、関西電力(株)、関西電力送配電（株）
※約９機関　約 72 名

（2）オフサイトセンター運営訓練

政 府 機 関：内閣官房、内閣府、原子力規制委員会、防衛省等ほか関係省庁
地方公共団体：福井県、美浜町、敦賀市、若狭町、小浜市、南越前町、越前市、越前町
滋賀県、長浜市、高島市
岐阜県、揖斐川町　ほか
事　業　者：関西電力株式会社

等

４　訓練想定

福井県嶺南を震源とした地震が発生し、これにより、運転中の美浜発電所３号機は緊急停止する。さらには、原子炉冷却材の漏えいが発生するとともに、設備の故障が重なり、蒸気発生器冷却機能、原子炉注水機能を喪失する事象が発生し、施設敷地緊急事態、全面緊急事態に至る。

５　主な訓練内容

（1）災害対策本部等本部員会議運営訓練

実施場所：危機管理センター　２階　災害対策本部室
参 加 者：知事、副知事、本部員、陸上自衛隊、彦根地方気象台、関西電力（株）、長浜市（市長）、高島市（市長）
内　　容：

		事態区分	主な訓練内容
11/4（金）	15:15～15:45 第１回災害警戒本部	警戒事態	・観光客等一時滞在者への帰宅の呼びかけ ・保育所や学校にいる子どもの帰宅　他

11/5 （土）	10:10～10:40 第３回災害対策本部 ※（第１、２回は開催済み想定）	施設敷地緊急事態	・全面緊急事態になった場合の対応協議
	10:50～11:20 原子力災害対策本部会議（政府主催）	全面緊急事態	・全面緊急事態になった場合の国の対応について共有 ・滋賀県の状況について報告
	12:10～12:40 第４回災害対策本部	全面緊急事態	・避難が必要になった場合の対応協議

災害対策本部会議・緊急事態宣言・原子力災害対策本部会議の様子

(2) オフサイトセンター運営訓練

実施場所：美浜原子力防災センター（福井県三方郡美浜町佐田 64 号毛ノ鼻 1－６）

内　　容：

		事態区分	主な目的
11/4 （金）	14：00～ 要員参集および情報共有	警戒事態	・参集要員（自治体職員） ・情報収集および共有
	17:05～17:20 第１回現地事故対策連絡会議	施設敷地緊急事態	各機関の対応状況について共有
11/5 （土）	9:00～9:30 第２回現地事故対策連絡会議	施設敷地緊急事態	・原子力発電所の状況について共有 ・全面緊急事態における防護措置方針について共有

11/5（土）	11:30～12:00 第１回原子力災害合同対策協議会	全面緊急事態	全面緊急事態における対応状況について共有
	13:00～17:00 ブラインド訓練	全面緊急事態	福井県の一部地域が避難対象地域となった想定でブラインド訓練を実施 ➢ OIL２（一時移転基準）超過後の対応に関する資料作成 ➢ 他県を通過する場合の避難経路等について調整
11/6（日）	8:30～13:00 ブラインド訓練		滋賀県の一部地域が避難対象地域となった想定でブラインド訓練を実施 ➢ OIL２（一時移転基準）超過後の対応に関する資料作成

美浜原子力防災センターでの活動の様子

６　主な成果と課題

（1）成果

- 準備の過程において、関係機関および各部局と連携体制を深めることができ、関係機関および各部局においては、原子力災害時の対応を再確認することができた。
- 官邸、美浜原子力防災センター、関西電力、長浜市、高島市の災害対策本部と県の災害対策本部と原子力防災ネットワークシステム等を通じ情報の共有や協議を行う中で、本県として取るべき対応について意思決定する過程を確認できた。
- 国、隣接県等と訓練することにより、他県を通過する場合の避難経路や交通規制について議論することができた。
- 11/6 のオフサイトセンター運営訓練において、滋賀県の一部地域が避難対象地域となった想定で訓練を実施したことにより、一時移転対象地域の避難方法、避難経路等について国と共通認識を図ることができた。

（2）課題

- 原子力災害への対応は事態の進展に応じて、防護措置を順次していく必要があることから、収集した情報について関係機関と正確に共有するとともに、住民にわかりやすく、タイムリーに発信することが必要。特に国、オフサイトセンター、電力事業者、長浜市および高島市としっかりと連携して取り組んでいく必要がある。
- 冬季、夜間、地震により建物被害が大きい場合や進展が急速になった場合など、今回の訓練をもとに、さらにどのような対応が必要なのか検討する必要がある。